



悪者どろいの家 (「座右の寓話」から)

ある村の話です。2軒の家が隣り合わせで暮らしていました。一方の家は7人家族でしたが7人はとても仲よく争いごと一つ起きません。もう一方の家は3人家族ですが、毎日ケンカが絶えず、面白くない日々を送っていました。



ある時、3人の家族の主人が7人家族の家を訪ねて聞きました。「あなたの家は家族も多いのにケンカしたことがないと聞く。わしの家はたった3人だというのに毎日ケンカばかりで困っている。どうしてあなたの家は、そう仲良く暮らせるのです？」7人家族の主人は「それは私どもの家は悪者ばかりの集まりです。あなたの家は良い人ばかりの集まりだからなのでしょう」と言います。3人家族の主人は納得いかず「7人悪者がいるのにケンカがないというのは、どういうわけです？」と聞きました。

「いや、何も難しいことはありませんよ。たとえば、コップがこぼれてもお皿が割れても、みんな『それは私が悪かった。いや私がいたらなかった。いやいや私の注意が足りなかった』とお互いわれ先に悪者になる競争をします。だからケンカの起こりようがないのです。ですのに、あなたの家ではこれの反対で、何か間違いがあると、みんなが良い人になろうとして『自分のせいじゃない。おまえが悪い』とお互いが罪のなすり合いをするのでしょ。コップの水がこぼれても『おまえがこんなところにコップを置いているからだ』と良い人になろうとするに違いない。皿が割れても、『もともと割れやすい皿だったのだ。オレは悪くない』と自分の過ちを逃れようとするに違いない。だから、ケンカが絶えることはありません。私の家では競って悪者になり、あなたの家では競って良い者になろうとする。その結果、私の家では争いごとが起こらず、あなたの家では争いごとが絶えないのでしょ」

こう言われて3人家族の主人は、なるほどと合点し、目を覚ましました。それ以来、お互い譲り合うことに努力して円満な家庭になったというお話です。



人間関係で「あの人がもっとこうであつたら」と思うことが多いかもしれませんが、自分の性格をすぐ変えることは難しいのと同じく「人を変えることはできない。自分が変わった分だけ人は変わる」ということがあります。これからの子どもたちには、自分を向上させようという生き方をしてほしいと思います。

「キッズフェスティバル」

2月17日（金）児童会行事「キッズフェスティバル」を行いました。

これまでコロナ禍のため、異学年交流のたてわり活動が存分になかなかできずにいましたが、今回開催することができて子どもたちも大喜びでした。



【あきかんつみ】
制限時間内に何個積めるかな？



【ピンポン玉リレー】
スプーンでピン球を回していくよ



【暗記ゲーム】
フラッシュ画面に出てきた物を何個言えるかな？



【はし落とし】
ペットボトルの口に箸を落として入れられる？



【言葉さがし】
指定の平仮名で始まる言葉をいくつ出せる？



【かぶっちゃやーよ】
出てきたお題に関連する言葉をかぶらず言える？

高学年が下級生のお世話をしている姿がたくさん見られて、ほのぼのとした時間になりました。

令和4年度 卒業証書授与式

日時 令和5年3月16日（木）午前9時開式

〈式におけるマスクについて〉

- ・ご来賓や保護者は、マスクの着用をご協力いただきます。
- ・児童について「呼びかけ」や「歌」の場面では、マスク着用で実施します。
- ・以上のことを基本としますが、マスク着脱を強制するものではありません。

※6年生保護者様へ

卒業証書授与式のときに「保護者用名札」を回収させていただきますので、お持ちくださいますようお願いいたします。

※1～5年生は、当日学校お休みです。